



観光振興による地域創生に向けた人材育成事業

大学・地域・企業 つながり通信

広島市立大学COC+ ニュースレター

vol.006
2017.08

地域を感じ、考え、表現する

地域課題演習・アートプロジェクトの 実践から

地域の現場での学生の活動が本格的に始動しています。「地域課題演習」では、尾道市、安芸高田市、山口県上関町など6つの地域にテーマを設定し、61名の学生が取り組んでいます。現地での体験を通して地域の状況を肌で感じる中で、キャンパスでは得られない大きな刺激が、学生を地域の魅力や課題に目覚めさせつつあります。

また、芸術学部の学生を中心とした「アートプロジェクト」は、今年度から新たに統一テーマを「広島ニュートラベル」とし、各地で活発に展開中です。



2ページに続く



写真はいずれも地域課題演習
①③ 中山間地域の食文化と里山ライフスタイルを知る (安芸高田市)
② しまなみ海道を自転車で走り行動情報を収集
④ 尾道市の歴史や文化を感じる
⑤ 山口県上関町で半島地域の自然や歴史を探訪
⑥ 地域課題演習の合同発表会を開催

COC+アートプロジェクト テーマは「広島ニュートラベル」

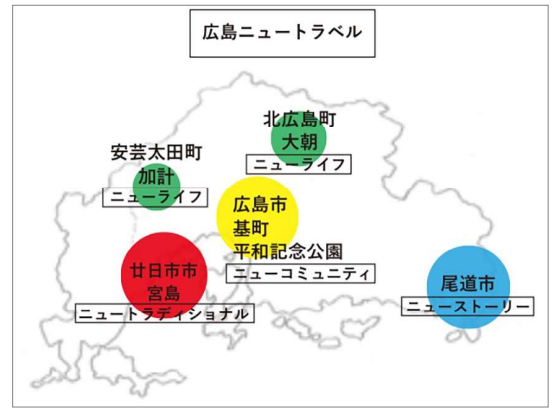
約140名の学生・教員が
5つの地域でプロジェクトを展開

「アートプロジェクト」は、事業協働地域の資源や観光のポテンシャルを、アートやデザインによる表現力によって、魅力化や活性化できるよう取り組むものです。同時に、教育研究事業のプログラムとして行うため、学生が地域に入って取材、体験、制作を進めるプロセスの中で、作品に込めた思いとともに、自らが地域への発見や気づきを得ることが重要になります。

平成29年度のアートプロジェクトを展開するにあたり、実施地域の拡大を検討し、新たな地域として、北広島町大朝（筏津芸術村で彫刻等の創作活動）、安芸太田町加計（製鉄文化をテーマにした作品制作）、尾道市（尾道市立大学との協働による空き家再生プロジェクト等）を加えました。平成28年度からの継続（宮島、広島市）と併せ、全体として5地域10のプロジェクトに芸術学部全10専攻の学生・教員約140名が参加するアート活動となっています。

プロジェクトの統一テーマは「広島ニュートラベル」としました。コンセプトは、アート活動により人をいざない、交流を進めることです。瀬戸内、広島市都市部、中山間の各地域において、芸術学部が参加大学や地域と協働しながら、作品制作・展示・ワークショップ、地域活動等を実施します。

各エリアには、サブテーマとして「ニュートラディショナル」（宮島）、「ニューコミュニティ」（基町、平和記念公園等）、「ニューライフ」（大朝、加計）、「ニューストーリー」（尾道）を設定しました。



写真はいずれもアートプロジェクト。
① たたらプロジェクト（安芸太田町加計）
② 筏津プロジェクト（北広島町大朝）
③ 宮島双六プロジェクト
④ 尾道プロジェクト
⑤ 宮島染織プロジェクト



「ニューラディショナル」

廿日市市 宮島

宮島双六プロジェクト

●宮島の歴史や伝統文化、地域特性をテーマに板目木版画技法を用いた新しいデザインによる「宮島双六観光マップ」を制作。成果物をサテライトハウス宮島で展示(油絵専攻)



「ニューラディショナル」

廿日市市 宮島

宮島ものづくり産業復興プロジェクト

●宮島伝統産業会館を活用した宮島轆轤の技術習得、轆轤道具と材料の研究と作品制作(漆造形)

●全国の木工轆轤の歴史・特徴・技術・現状から次世代への技術継承をテーマに「広島発轆轤の芸術祭」をサテライトハウス宮島で開催



「ニューラディショナル」

廿日市市 宮島

宮島染織プロジェクト

●サテライトハウス宮島を活用した世界遺産登録20周年を記念する空間演出として「宮島に平和の明かりを灯そう」をテーマとした染織造形を制作、展示(染織造形)



「ニューコミュニティ」

広島市 基町

基町プロジェクト

●M98 <join>の設置(作品展示・交流スペースとして活用) ●オープンミーティングの開催(毎月第3土曜日に学生や基町地区住民との交流) ●クリエイター・イン・モトマチの実施(若手クリエイターによる基町住宅地区内のサインデザイン「基町デザイン」) ●モトマチ・アートウィンドウ ●Mトーク ●もとまちカフェ(広島修道大学との協働) ●創作スタジオ「M98<make>」で、未来の基町を考える模型を制作 ●基町、昔の写真展 ●キッチンスタジオ「M98<eat>」での、グローバルキッチンプロジェクト(安田女子大学との協働)



「ニューコミュニティ」

広島市 市内中心部

観光客に伝えたい新しい広島

●広島市外(海外を含む)から広島へ観光に来ようと考えている人々へ、新しい視点でのビジュアルイメージを伝える(視覚造形)

「ニューコミュニティ」

広島市 平和記念公園

広島ピースプロジェクト

●NHK広島放送局と長崎放送局が2007年から毎年放送している特集番組「ヒバクシャからの手紙」をNHK広島放送局と協働し、8月放送の記録映像を学生が主体となって制作(映像メディア造形)



「ニューライフ」

北広島町 大朝

いかだづ 筏津プロジェクト

●彫刻専攻と立体造形の学生が創作活動スペースの筏津芸術村に滞在し、現地の材料を使って作品を共同制作する。作品を筏津芸術村等で展示(彫刻専攻、立体造形)



「ニューライフ」

安芸太田町 加計

たたらプロジェクト

●安芸太田町を中心とした地域特有のたたら製鉄文化を学習し、鉄をテーマにした作品制作と展示(金属造形)



「ニューストーリー」

尾道市

尾道プロジェクト

●尾道市立大学との協働プロジェクト
尾道アーティストインレジデンス(AIR尾道)に滞在するアーティストの空き家再生プロジェクトに市大生と尾道市大生が協働し、ワークショップや作品制作等を行い、その成果をAIR尾道の展示スペースで発表(現代表現)



「ニューストーリー」

尾道市

日本画風景プロジェクト

●尾道の風景をテーマに味わいのある街並みや港の風景を取材、日本画制作の基となるスケッチを現地で行い、作品制作。完成後にオープンキャンパス等で展示(日本画専攻)



平成28年度事業のCOC+外部評価



「計画を上回る実績」と評価

COC+外部評価委員会を、本学において平成29年7月5日に開催しました。(名称は「観光振興による地域創生に向けた人材育成事業外部評価委員会」、委員長は神戸市外国語大学前理事長・学長の船山仲



他名誉教授)。平成28年度のCOC+事業内容について審議が行われ、実質的な始動年度として事業を上昇軌道に乗せ、平成

29年度から安定的に実施できる状況を作り出したことから、「計画を上回った実績を挙げている」との評価をいただきました。

外部評価の詳細と「平成28年度事業報告書COC+REPORT/2016」は、ホームページ(広島市立大学COC+)に掲載しています。

事業の概要



9校が連携



広島市立大学COC+地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 地域に定着し貢献する人材の育成

育成を目指す人材像

- 地域の特性や課題を理解している
- 総合的視野から企画できる
- ネットワークを形成、調整できる
- 専門性を効果的に発揮できる



対象地域は、広島広域都市圏の市町と尾道市の25自治体

広島市立大学の人材育成のためのカリキュラム

広島を「知る」「感じる」「問う」「挑戦する」

- 1 地域志向の教育カリキュラムを実施
広島の観光学、地域再生論入門、地域課題演習など多彩に開講
- 2 観光関連データベースの構築
集積した観光情報を教育研究や観光の振興に活用
- 3 参加大学等が協働し教育研究事業を実施
学生による各地でのアートプロジェクトや地域活動など
- 4 インターンシップの強化
地元企業の魅力を知る機会を増やす取組など

事業テーマ＝地域の観光振興・活性化

学生の地域内就職率の向上を目指す

事業協働機関等

(大学等9校) 広島市立大学、広島大学、尾道市立大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島修道大学、安田女子大学、広島商船高等専門学校
(自治体25市町) 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町
(経済団体・企業・NPO法人32機関) 中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、広島県経営者協会
オタフクソース(株)、(一社)尾道観光協会、呉信用金庫、(株)グリーンヒルホテル尾道、(公財)コミュニティ未来創造基金ひろしま、山陽工業(株)尾道国際ホテル、(株)中国新聞社、西中国山地観光施設等連絡協議会、日工(株)、(株)ハイエレコン、(公財)広島観光コンベンションビューロー、(株)広島銀行、広島市信用組合、(公財)広島市文化財団、広島信用金庫、広島電鉄(株)、(株)広島東洋カーブ、広島日野自動車(株)、(公財)広島平和文化センター、(株)福屋、(株)プリンスホテル グランドプリンスホテル広島、(株)ホテルグランヴィア広島、(株)ホライズン・ホテルズ ANAクラウンプラザホテル広島、マツダ(株)、(株)もみじ銀行、(株)山本屋、特定非営利活動法人キャリアプロジェクト広島、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター (企業等・NPO:五十音順)
(事業の一部を協力する大学) 比治山大学

COC+とは?

COCはセンター・オブ・コミュニティの略称。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、地方への人の集積を目的に、大学・自治体・企業等が協働して、地域に定住し、貢献していく人材を育成する取組への文部科学省の補助事業。

【編集発行】 広島市立大学社会連携センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL 082-830-1542 FAX 082-830-1555
<http://www.cocplus-hiroshima-cu.com/>

